

令和7年度第3回小金井市長期計画審議会

日 時 令和7年8月25日（月）午後5時00分～午後7時15分

場 所 市民会館・萌え木ホールA会議室

出席委員 11人

会 長	渡 邊 嘉二郎	委員					
委 員	中 村 彰 宏	委員	湯 元 由 佳	委員			
	渡 辺 有 加	委員	石 塚 勝 敏	委員			
	春 日 邦 夫	委員	佐 伯 大 太	委員			
	須 藤 吉 章	委員	浅 野 智 彦	委員			
	井 寺 喜 香	委員	神 山 伸 一	委員			

欠席委員 5人

檜 山 渚	委員	白 井 脩 造	委員
和 知 俊 行	委員	萬 羽 郁 子	委員
塚 田 晃 平	委員		

事務局	企画政策課長	廣 田 豊 之
	企画政策課係長	前 坂 悟 史
	企画政策課主任	兼 堀 義 信
	企画政策課主任	山 田 仁 美
	企画政策課主事	樗 木 紗 矢
	アビームコンサルティング株式会社	大 川 創 平
	アビームコンサルティング株式会社	中 村 圭 介
	アビームコンサルティング株式会社	大 森 陽 太

傍聴者 0人

（午後5時00分開会）

◎渡邊会長 ただいまから、令和7年度第2回的小金井市長期計画審議会を開催いたします。

本日は、檜山委員、白井委員、和知委員、萬羽委員、塚田委員から欠席の連絡が入っております。

定足数は、「小金井市長期計画審議会条例」第5条第2項で、半数以上の出席で成立すると定められております。現在16名中11名でございますので、この会議は成立しているということを御報告申し上げます。

それでは、事務局から資料等の説明をお願いいたします。

◎廣田企画政策課長 お配りしている資料の確認でございます。まず、本日の次第でございます

す。それから、資料1 令和7年度施策評価について（答申）案がA4ホチキス留めの資料です。次に、資料2としまして、第5次小金井市後期基本計画のたたき台になります。続きまして、参考資料といたしまして、重点テーマの記載変更案になります。あともう1点、第5次基本構想・後期基本計画の素案に対する市民等からの意見聴収という、こちらの資料をお配りしてございます。本日配付の資料は以上となりますが、前回までに配付させていただいた資料についても御参考いただければと思います。

不足等はございませんでしょうか、よろしいですか。

それでは渡邊会長、よろしくお願いいたします。

◎渡邊会長 それでは、議題1 令和7年度の施策評価についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

◎廣田企画政策課長 まず資料1を御覧ください。令和7年度施策評価について（答申）案になります。こちらの資料は、前回の会議の中で長期計画審議会コメントとして掲載したいキーワードや文章をピックアップしていただく作業を行っていただきましたが、それを基に、会長とグループリーダーから御意見をいただきながら答申の案としてまとめたものでございます。

資料の内容について説明させていただきます。29の施策それぞれを「長期計画審議会コメント」及び「意見」という2つの形で整理させていただきました。長期計画審議会コメントにつきましては、前回ピックアップしていただいた内容を中心に1項目に絞りまして掲載してございます。こちらが施策評価シートに掲載してございます。その下にある意見につきましては、長期計画審議会コメントに掲載できなかったものを掲載させていただきました。主に施策や個別事業に対する御意見となっておりまして、こちらは、施策評価シートには掲載はしませんが、コメントとともに本審議会の答申として公表して、担当部署に共有いたします。

それでは、本日御協議いただく内容を説明させていただきます。

資料1の1ページ目を御覧ください。本日は、こちら施策1から一番最後の施策29までの長期計画審議会コメント及び意見を御確認いただきたいと思います。本日は皆様からいただいた御意見の中で、修正が必要なものにつきましては、それを反映したものをまとめさせていただきます。最終的な長期計画審議会としての答申をいただきたいと思います。なお、最終的な答申は、会長と事務局で調整させていただきます。会長一任でお願いしたいと思います。施策の数も多く時間の関係もございまして、本日調整が難しい御質問等につきましては、来年度の評価への持ち越しとさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

説明は以上になります。

◎渡邊会長 それでは令和7年度施策評価について（答申）案について御覧いただいて何かあればコメントをいただきたいと思います。では1分時間を取りますので御確認をお願いします。

（資料確認）

◎渡邊会長 1分ほどの時間が経ちましたが、何か御意見、コメントがあればお願いいたします。

す。いかがでしょうか。

なければ、次の議題に移りたいと思います。よろしいですか、皆さん。

(御意見なし)

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

では次に議題２に移ります。事務局より説明をお願いいたします。

◎**廣田企画政策課長** では、施策評価のほうはこれで終了ということで、繰り返しになりますけども、最終的な答申につきましては会長と事務局で調整させていただきまして、会長一任という形でお願いしたいと思います。

では、議題２に移らせていただきます。

資料２の第５次小金井市後期基本計画（たたき台）を御覧ください。先日の第４回起草委員会におきまして、後期基本計画（たたき台）に対する御意見をいただきまして、ありがとうございました。いただいた御意見を参考にたたき台の最終修正を行いましたので御確認いただければと思います。前回、起草委員会から変更した箇所につきましては黄色のマーカーが引かれておりますので、御参考にしていただければと思います。

また、いただいた御意見以外にも事務局にて修正を加えておりまして、主な変更点といたしましては２点ございます。まず、前回御説明いたしました「重点テーマ」について、各施策に各課の回答を反映いたしました。「重点テーマ」として掲げております「持続可能（サステナブル）な地域社会の構築」と「ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進による地域社会の発展」においてそれぞれ５つの視点を取り上げまして、施策がその視点を推進する取組を持つ場合には○をつけることとしています。

また、主な修正点の２つ目は、施策の方向性の付番についてです。前回までのたたき台では施策の方向性に①②③という形で付番していましたが、取組内容の優先順位をつけているように見えるといった御意見があったことから、付番をしない形、●という表記になっています。

主な変更はこの２点ですが、ほかにも軽微な修正を加えています。

本日は、このたたき台の最終確認をしていただきまして、御意見、修正等がございましたら、会長一任で修正をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

後期基本計画（たたき台）における今後のスケジュールといたしましては、本日文書の確認をいたしまして、いただいた御意見などを踏まえて文案を修正したのち、９月１６日の長期計画審議会にて中間答申として提出する後期計画の素案を御覧いただきまして、それから９月２０日の市民フォーラムにて市民の方に御意見をいただくという流れとなっています。

説明は以上になります。

◎**渡邊会長** では資料２の第５次小金井市後期基本計画（たたき台）について御意見をいただきたいと思います。施策１つ１つの御意見を伺いたいところですが、時間が限られておりますので、６つの政策ごとにお伺いできればと思います。

まず、環境と都市基盤、施策１から７について見ていただきます。特にワーキンググループ

で出た意見の箇所などを主に御確認ください。前回配っていただいたものと今回との違いは黄色いマーカーがついている部分ということです。それでは、まず3分間、施策1から7を見ていただいて、御意見を確認したいと思います。

(施策1～7確認)

◎**渡邊会長** 3分ぐらいたちましたので、施策1から7について何か御意見あるいはコメントがあればお願いいたします。

◎**神山委員** Focus PointのDXについて、例えば施策5の住環境の整備で、このFocus Point、1つしか丸がついていません。例えばこの上のところで空き家の利活用というのがありますが、この情報発信のところに丸がついていません。DX、そういうICT技術を使って情報発信をするということであればここに丸がつきそうですし、空き家などでマッチングサービスみたいなことをアプリ上でやるとかそういうことになると、この行政サービスというところに丸がついてくるという可能性があるのかなと思っています。そうすると、この辺の住環境整備についても、もう少しこのDXという視点で問える施策というのがあるのかなという気がしました。

同様に施策7の交通環境整備についても、ここの行政サービスというところに丸がついてないです。小金井市ではやっていないのですが、例えばデマンドバスとかデマンドタクシーなどを、今、AIを使って効率的に運用するというようなサービスが始まっているので、もしかすると小金井の交通環境、交通を利用する場合にそういうAIが活用できるのであれば、何かこういうところの視点というのもひとつ必要かなと思います。また、ここも情報発信に丸がついてないのですが、例えばこの自転車の利活用という、シェアサイクルなども今アプリ上で予約したり借りたり決済したりというのもあるので、情報発信も含めて行政サービスというの、丸がつくと良いのかなという気がしました。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

行政のほうから何かあれば。

◎**廣田企画政策課長** 御意見を踏まえまして、担当課とも調整したいと思います。

◎**渡邊会長** ほかにございますか。

それでは施策1から7までは終わることとし、次に施策8から11の地域と経済についてです。気になる点があれば挙手で御発言ください。施策8から11は4個しかないので1分をお願いします。

(施策8～11確認)

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。施策8から11の4個ありましたが、何か気になる点がありますか。

◎**神山委員** さっきと同じようですが、ここのセクションは1つもDXで行政サービスに丸がついてないですね。DXの視点で言わせていただくと、例えば危機管理で言うと、この能登半島地震のときは避難所に集まっている人たちの名簿が紙でしかなくて、それが共有できなく

て、どこに誰が避難しているのかが分からないというのが最大の課題だとお聞きしました。そうすると、避難所に誰がいるかというのをデータで共有して、それを災害対策本部に集約するというシステムを早急につくらなければいけないというのが、今、国のほうでも動いていたりするので、そういう意味では、この危機管理体制というところだったり、次の地域安全の分野も、DXの行政サービスというところにチェックがついてくるのかなと思います。

また農業でも、農業委員の井寺委員がいる前ですが、スマート農業なんて言われていて、農業の分野でも自動監視とか水やりに関するタイミングとかを、AIで監視しようという動きがあり、そういう動きもありますので、そういう視点のところを少し割いてきたりすると、次の5年間に向けて良いのかなというような気がします。

同じことばかりですが、以上です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

確かにDXというのは次の5年間でもものすごく進歩する。だから、少し丸が多くても良いかなという感じもしますよね。検討いただければと思います。

ほかにございますでしょうか。

◎須藤委員 先ほどの答申案の部分になりますが、施策11の答申案の2つ目のイベントを開催するだけでなく参加者が得られた情報を日常生活に生かすなどがありますが、私どもの話し合いの中では、参加者が日常生活に生かすというよりは、イベントを開催することによって持続的に、イベントをしない状態でも商業、工業を活性化するような仕組みを構築してほしいという意見があったような記憶があるので、もう一度確認していただきたいです。

それに合わせて、今回の基本計画のたたき台の中でも、同じようにイベントを持続的に開催することも大事ですけど、開催しないときでも持続的に継続できるような仕組みを考えていただきたいので、そういった取組を入れていただければありがたいと思っています。

以上です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

◎中村委員 49ページの政策10の産業・観光の振興で、黄色でマーカーをしているところです。観光の振興推進で、「本市を訪れる交流人口を増やし、地域経済を循環させるとともに、市民満足度の向上」とありますけれども、確かにこの文脈では交流人口という書き振りは良いと思うのですが、ここに入るかどうかは別として、関係人口について触れたほうが良いのではないかと私は思いました。

スマホで検索してみると、交流人口と関係人口の違いとか、AIで意味が出てきますけれども、両者の違いについても時間的關係からすると、交流人口というのは一時的であるのに対し、関係人口は継続的です。人口減少の今、時代の趨勢において、関係人口を増やすことが求められるのではないかとということで、このAIの解説が合っているかどうかは別問題として、関わりの深さというタイトルで書いてありますが、交流人口は地域との関わりが弱い一方、関係人口は経済的、文化的な関わりを持ち、地域への深い思い入れを持つことがあるということです。

あと、役割としても、交流人口は短期的な商機を促す役割として、関係人口は地域課題の解決や活性化に貢献する担い手としての役割が期待されている。このように関係人口は、観光以上移住未満の存在として地域に持続的な貢献をもたらす重要な存在として位置づけられていますとあります。

このたたき台の中に含まれている中で関係人口に言及するかどうかというのは分からないのですが、人口減少の世の中、この趨勢の中で関係人口について言及することは大事なということで御提案申し上げます。これは事務局にお任せします。関係人口について触れるような書き振りがあってもよいのではないかというのが私の意見です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。必要な御指摘だと思いますので、その交流人口と関係人口について適正な言葉で記載をしたほうがよいですね。

◎中村委員 今、関係人口という書籍が出ています。これから読もうかなと思っているのですが、その辺の書籍もありますので、時間はかかりますがお目通しいただければと思います。

◎渡邊会長 ほかにございますか。

◎浅野委員 今の中村さんの指摘についてまず1点申し上げて、その後、別のところを申し上げます。

確かに交流人口より関係人口という言葉のほうが良いなと私も思っていて、実際、資料の92ページを見ますと「地域産業の活性化等による交流人口・関係人口」と書いてあるので、施策のほうに入れてもつじつまとしては合っているのかな、ということが1つです。事務局としてはお考えになられていたということだと思いますので、施策のほうに入れても良いのではないかと感じました。それが1点です。

もう1点は、同じく49ページの3つ目、就労支援の充実です。ここでシルバー人材センターに言及されていて、実は我々が担当した高齢者の部分でも、就労支援でシルバー人材センターに言及されている部分があります。ページでいうと75ページ、施策23の3つ目です。これは我々のグループの中でも議論になった部分ですが、高齢者の就労支援です。75ページを見てみますと、地域貢献活動による社会参加、生きがいくくり、知見・経験を地域づくりに活用できるようにシルバー人材センターやこがねい仕事ネットなどを活用するとなっていて、お金の問題はさておいて、生きがいとか地域貢献とかそういったことに焦点を当てられています。でも実際には、お金のために働かなければならない高齢者はきっといますので、その問題が49ページに結集されていて、言ってみれば高齢者の就労支援というトピックとしては生きがいと人口減少に縮められていて、お金のための就労支援あるいは雇用の拡大という文言としては別のところに書かれているので、高齢者を対象とする施策として切り詰められているところがあるような印象を受けます。施策の中にそれを入れたいということではないのですが、そういう話があったということを議事録に残しておいていただきたいと思います。

◎渡邊会長 ありがとうございます。ほかにございますか。

◎石塚委員 施策8危機管理体制の構築における現状と課題のところでは自助、共助、公助と書

かれていて、特に公助というところに着目をしたときに、例えば自主防災組織の充実とかそういうところに関わってくるかなと思います。いよいよこれが少子高齢化の対応というところでも非常に密接に関係してくるのではないかなと思います。

私自身も自分の地域のところで町会の防災会を、私よりずっと上の方々が一生懸命頑張っているというのが現実です。そういったところを考えると、これからの少子高齢化対応というところ、重点テーマ、そこにも着目してちゃんとやっていく必要があるのではないかなという気がしました。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。ほかにございますか。施策8から11についてはよろしいですか。

それでは次に子どもと教育、施策12から16の5項目について、また3分間、ざっと目を通していただきます。よろしくお願いいたします。

(施策12～16確認)

◎**渡邊会長** 3分たちました。施策12から16で何かコメントがあればお願いします。何でも結構ですから、思うことがあればお願いします。

◎**神山委員** また同じなのですが、施策15の施策の方向性でICTの利活用と書いてありますので、やはりここは利活用するというふうに施策の方向性でも入っているので、下の行政サービスのところでも丸がついてくるのかなという気がしました。

それから16も同じですね。GIGAスクール構想によって子供たちの学びの環境を整えるとなっていますので、そうするとやっぱりDXのところは業務の効率化だけではなくて行政サービスというところにも丸がつくかなと思います。

施策12ですけれども、この辺りも行政サービスのところに丸がついていないのですけれども、例えば、今、子供の虐待などが言われているときに、児童相談所と子ども家庭センターと学校で情報の共有ができていないというのが課題であると聞いたことがあるのですが、ICTによって共有化できるようなシステムがつかうことができるのであれば、そういう方向性としてここに丸をつけておくのもよいかなと思います。もし現場のほうで考慮されているのであれば、この辺りも少し配慮をいただけると良いかなという気がしました。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

実際は結構そういうソフトというかシステムがあっても、活用するか、活用するお金があるかないかという問題があると思うのですけれども。やろうと思っただけのものではないですね。

◎**浅野委員** 今の神山委員の御指摘に対する質問になってしまうのですが。

行政サービスの中には、例えば授業で1人1台の端末を使うことも含まれるのかということですね。要するに教育委員会と学校教育の間の関係が悪くなるというか、教育委員会が教育現場で行っているICTの利活用というのは行政サービスの中に包括されているのでしょうか。

その辺の整理はいかがでしょうか。

◎**神山委員** 事務局とすると、この行政サービスの幅というのはどこまでを想定している感じですかね。

◎**前坂企画政策課係長** 学校の分野は少し特殊で、ここにもともと書いてある行政サービスというのは基本的にはいわゆる窓口とかでの手続とかそういったところをイメージしていたので、今、浅野委員がおっしゃったような部分はまだ具体的な整理ができていないところがあります。ここは我々のほうでも検討して、神山委員からご指摘があったように丸をつけるとか、積極的にやっていくということで、もし何かうまく整理して示せるのであれば検討したいと思います。

◎**渡邊会長** ほかに何かございますか。

◎**井寺委員** 私もさっきから神山委員の行政サービスのところがすごく気になって前後を見えています。25ページの地域社会の発展の項目の説明書きのところを見ていただくと、行政サービスのデジタル化は利便性を追求するところのサービス化として項目づけられているのだろかなということが分かったのですが、せっかく今後の5年間の計画なので、行政サービスをもう一つ二つぐらい項目分けして、利便性を追求する部分と、暮らしの中にこういう仕組みを取り入れていくという前向きな検討課題との二つに分けられると、とても分かりやすいし見るほうも良いのではないかと思います。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

確かに我々が想像する以上に深く、速く、広く情報技術というのは社会に浸透していきますので、それを狭める必要はない。ただ、無制限にそれを受け入れる必要もない。うまくコントロールしながらやっていくということかもしれません。

ほかにございますか。

◎**浅野委員** 今の話で、調べていただける、整理していただけるということでありがとうございます。その上で念のためにということなのですが、私が言うまでもないことだと思うのですが、教育委員会と市長部局というのはそれぞれ独立性が担保されていて、組織としてかなり繊細に分けられていますね。人事の部署も別になっていて、いわゆる行政サービスの中に教育委員会が取り組んでいく事柄をそのまま包摂できるかということ、なかなか難しいところが実はあるのではないかと思います。

それとは別件で、我々のグループの中で繰り返し出ていたことなのですが、施策12や15の100%の目標値は高過ぎるだろうというのが、昨年度の施策評価のときにも意見が出て、後期計画の目標もやはり100%となっていて、起草委員会のほうでも100%は無理があるだろうという意見が出ていました。なので、100%を求めるとどうしても無理が生じるところがあるのではないかと意見が出たということをごどこかに記録しておいていただきたいと思います。

◎**渡邊会長** ほかに施策12から16までで何か御意見はございますか。

それでは、次の施策17から21の文化と生涯学習について、3分ぐらい目を通していただ

いて御意見を申し上げます。

(施策 17～21 確認)

◎**渡邊会長** 大体 3 分たちました。

施策 17 から 21 について、なにか御意見はございますか。

では、私のほうから。これもさっきと同じ D X のことですが、生涯学習の振興について、環境もシステムも重要なのですが、学習というのはいろんな目的があって、いろんな部署が連携すべきだという議論がこの間も出たような気がします。その意味でいうと、情報発信にも丸がついて、情報のやり取りをするということがあっても良いのかなという印象を受けました。

あとは、人権・平和・男女共同参画の尊重の施策の方向性の最初のところ、「人権尊重意識を高め誰もが個人として尊重される社会に向けて、これまでの事業を継続させる」ということなので、ここの点については我々のグループではハラスメントの問題が最近非常に注目されている問題になっているということがあったのですが、この文面の中にハラスメントのことが含まれているので、あえて言う必要はないのかもしれないけれども、ここに書かなくても認識していただければなと思いました。

ほかに何かございますか。

それでは、施策 22 から 26 まで、福祉と健康の 5 項目について、また 3 分ぐらい目を通していただきます。

(施策 22～26 確認)

◎**渡邊会長** おおよそ 3 分過ぎました。施策 22 から施策 26 の福祉と健康で御意見を願います。

◎**浅野委員** 2 点あって、74 ページの現状と課題の 2 段落目を修正していただいているのかなと思うのですが、「一方の課題として、シルバー人材センターへのサービス需要を意識した就労機会の創出や悠友クラブの会員数確保などを通じた」云々となっています。元は「シルバー人材センターのサービス需要を意識した就労機会の創出」となっていて、読み方によっては、シルバー人材センターが需要を十分に意識していなかったと読めていたけれど、こういうふうに一文字足すだけで、ここの書き振りを変えたということになっています。私としては、それでも誤解を招きそうな気がします。

◎**前坂企画政策課係長** 「へ」と一言入ったことで変わるかということですがけれども、今、浅野委員がおっしゃったように、ここの段では、どうしてもシルバー人材センターが主語にみえてしまうのですけれども、今代わりの言葉が出てこないですね。

◎**浅野委員** 実際の意図としては、シルバー人材センターにどんな仕事が求められているかという、シルバー人材センターに対する需要を意識して就労機会をつくるというのがあるというのがもともとなので、だから、シルバー人材センターがサービス需要を意識して何かやるべきなのにやってないように見えるような書き振りになっていることが、我々としては誤解を招きそうだと思います。趣旨を酌み取っていただきたいと思います。それが 1 点目です。

2点目が、直していただいているのですが、我々の趣旨がうまく伝わっていなかったかもしれないというのが78ページ、施策25の現状と課題の黄色マーカーになっているところですね。ここを修正していただいているのですが、我々がこの起草委員会で議論し少し分かりづらいなと思ったのは、ちょうど黄色になっている部分「就労支援の課題が浮き彫りになっている」このフレーズを見ても、どう浮き彫りになっているのかがいまいち分からない。つまり、仕事をしていないという回答が約半数を占めている。就労希望者は約3割いる。ポイントは、半数と3割が、それぞれ何の半数、何の3割かを明示していただくことかなと思います。例えば、仕事をしていないとする回答が約半数を占める一方、その半数の中の3割が就労希望をしているとなれば、これは確かに課題だと思います。なので、このところ、どういう意味で課題なのかがこれだけだと分からないのではないかと思います。

修正はしていただいたのですが、ちょっと我々の趣旨がもしかしたら伝わりづらかったかなと思っていて、文面を検討していただければと思います。何の半数で何の3割なのか、そこを明示していただくだけでも結構です。

以上、2点です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。表現を分かりやすくということですね。そのところ、よろしくお願いします。

◎中村委員 施策22の福祉と健康、現状と課題が72ページ、施策の方向性が73ページ、ここはそれぞれ当然、現状と課題、施策の方向性というのはリンクしないといけないと思います。1つ思うのは、民生委員・児童委員の空白地区が年々増えているような感じがします。それで、73ページの一番上の施策の方向性、「民生委員児童委員協議会との連携」の2行目、「民生委員・児童委員制度や活動内容の周知を図るとともに、欠員補充に注力する」、これで良いとは思いますが、逆に振り返って、それが現状と課題にちゃんと反映され落とし込まれているかという、文言的には、72ページの現状と課題の上から6行目、「一方で、民生委員・児童委員の担い手不足」という表現になっている。ここは現状と課題において、民生委員・児童委員の空白地区が出ているというのをはっきり書かれたら良いのではないのでしょうか。市報でも民生委員・児童委員の空白地区がはっきりオープンになって市民に情報共有されているわけですから、そこはもうはっきりと書かれたほうが良い。民生委員・児童委員の空白地区が出ているというのが課題ですから、それをはっきり書いていただいたほうが良いのではないかと思います。

それから、施策の方向性として考えることとしては、確かに欠員補充に注力するのですが、今まで注力しているにもかかわらずどんどん空白地区が出ているということは、例えば民生委員の就任条件を緩和する、そういったことを書いていかないと、課題の解消、つまり施策の方向性とならないと思います。この書き方ではもうちょっとそこを深掘りして書いていただいたほうが良いのではないかと。欠員補充に注力するのは当然であって、そのためにどうするのかと、例えば今民生委員の就任条件が厳しいのであれば、それを緩和する取組というのが方向性とし

て求められるのではないかと私は思います。

◎渡邊会長 ありがとうございます。提案の意見になっていると思います。それを受けた文面を考えていただくようお願いします。

ほかにございますか。

◎石塚委員 福祉のまちづくりの推進のところになるのですが、重点テーマで持続可能な地域社会の構築のところで、地域経済のところが空白になっているのですけれども、この福祉のまちづくりの推進の中で、地域共生社会の実現というのが包括的支援体制の整備のところに書かれているかと思うのですが、そもそも地域共生社会の実現というのは、国が一億総活躍社会を目指すというところから出ているものであって、今後の少子高齢化にあたって地域の経済を支えるような人材が不足していく中で、できるだけ多くの方に、今まで担い手には特にならなかったかもしれない方も担い手になって地域を支えていく必要が出てきているということがあります。

また、包括的支援体制の中でも、実際の事業の中では、なかなか就労に結びつかないような方々に対して、今まで引きこもりなどで社会との関係性が薄れている方々を支援してできるだけ社会の中で生きていけるように、つながれるようにしていき、最終的にはお給料をもらえるような就労を目指すという形になるのですけれども、そういった中で実際に地域の商業をやっている方々のところに我々が相談を受けていた引きこもりがちな方をおつなぎして、今、そこで働いているということもあるので、そういう意味では地域経済に丸がつくことが重要なのではないかと強く感じます。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

ほかにございますか。

◎春日委員 先ほど浅野委員が指摘していただいて、私もシルバー人材センターのところでもう一度だけ確認をさせていただきたいと思います。

74ページですけれども、「シルバー人材センターと連携し」と、このようにありがたい言葉をいただいています。「高齢者の適性と能力に応じた就労機会を提供できるように支援しています」と、就労機会を提供していただいております。下のほうになりますと、就労機会の創出を意識するということで、一方の課題ということでシルバー人材センターが出てくると、シルバー人材センターの今の課題というのは会員不足、悠友クラブも一緒ですね。定年退職者が60、65、70になってきている中で、会員の入会率が非常に低くなってきているところが今課題になっています。じゃあ何が課題かともう一つ言うと、シルバー人材センターという知名度が薄いのかなと思います。何をやっているのか、介護なのかな、などと捉えられがちですので、認知度、知名度を上げていくことが課題、これはシルバー人材センター独自での課題ですけど、市のほうとしても新たに御協力いただきたところかなと感じております。

以上です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。知名度が低いから会員が増加しないということですね。

ほかにございますか。

それでは次に行政運営、施策２７から２９に参りたいと思います。また３分、ざっと目を通していただければと思います。

(施策２７～２９確認)

◎渡邊会長 およそ３分たちましたので、施策２７から２９で何かコメントがあればお願いします。

◎石塚委員 この中で市民協働支援センターという言葉が出てきますが、ありがたいことに私どもが今準備室を受託させていただいて運営をさせていただいて、かれこれ十何年になります。長いこと準備室の状態が続いている。確かにここに書いてあることにうそはないと思います、まだ本格実施をしてないので。一方で、協働事業提案制度などに関しても、うちの準備室が申込みをする方の御相談に乗ったりしているということで、実質ミニ協働支援センターが動いているような状態になっています。本格実施ではないのですが、かといって、じゃあ本格的なものをつくるための準備作業をずっとしているのかといたら、十何年もそんなことはしてないわけですね。そういった中ではどうなんだろうなと感じました。

あともう１点は、地域活動への参加促進というところで、まさにこれは重要なことだと思っているのですけれども、なかなか現実がついてきていない、要するに町会加入率の右肩下がりがずっと続いている。それは世の中の状況から見ても、なかなか都市部のこういった地域においては大変難しい課題だなと思います。確かに重要なことですが、じゃあその課題をどう解決できるかという具体的なものが出てこないというところがあります。書かなければならないということではないですけど、やっぱり何か具体的な解決策や企画みたいなものが提供されないと難しいだろうと思います。どう書けるかというのは分からないですが、そこは大きな課題ではないかと思います。

以上です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

私は、住んでいる地域の自治会の役員をやっていて、みんな８０歳の人が頑張っている。若い人もおりますが、彼ら彼女らはLINEでつながっている。でも８０歳以上の方はなかなかそのスキルがない。だから、例えばデジタルリテラシー、今から自治会とか町会の主立った人たちにそのスキルを教え込んでいくようなことが一つの右肩下がり止める施策かなと思ったりして、できればデジタルリテラシーに丸をつけていただいて、そういうことをやっていただければと切実に思います。いまだに電話連絡していて、メールもなかなか使えない。みんなスマホは持っているわけだから、LINEか何かができると、もっと皆さん加入するのではないかと、高齢者と若い人のコミュニケーションがそこでできるのではないかと。大したことではないような気がするのですよね、そういうことはやればすぐにできるのではないかと思います。これを踏まえて文案の検討をしていただければと思います。

ほかにございませんか。

ほかになれば、これで一応、全部の施策に目を通したということです。お時間は大分まだありますけれども、全体として何かこのまとめ方にこういう配慮があったほうが良いのではないかなどの御意見があればお伺いします。私が見せていただいた限りにおいては、我々が審議した件も反映されているし、かなり完成度の高い、従来と比較する必要はないのですけれども、今回、かなり完成度の高いたたき台になったと思います。

最後に、全体として何かこんなことがあったほうが良いのではないかと、何か意見があればお願いしたいので、一人一人お伺いします。そちらの須藤さんから。

◎須藤委員 起草委員会の委員と話をしていたのですが、全ての施策とは限らないのですけれども、目指す姿があって指標があって、その後、現状と課題。目指す姿という大ざっぱとかぼんやりしたとか大きな目標があって、その次に指標はありますけど現状と課題となったときに、目指す姿に対して、今どのぐらいです、どんな状態ですよということを書いているイメージがありましたが、現状を見ると、何をやっています、今どんなことに取り組んでいますという表示がされていて、もう少し現状を客観的に見た表現を入れたほうが良いのではないかと起草委員会では言いました。今、考えてみると、その現状と課題というところを、現在の取組と課題といったことに書き換えれば私の中では納得できます。目指す姿から現状と課題というところがかけ離れている印象があったので、少し違和感があったので、今さら変えられないのかもしれないのですけれども、そういうところを考えていただいても良いのかなと思いました。

◎渡邊会長 ありがとうございます。結構、難しい課題ですね。現状と課題の中身は取組内容が書かれていますが、現状という表現に違和感があるということです。

◎須藤委員 そうですね、目指す姿に対しての現状と見えてしまったので、それに対しては具体的な内容ばかり書かれているなという印象があります。その目指す姿に対して、現在どんなことに取り組んでいくのかということであればすんなり入れたと思うのですけれども、そのギャップがあったので。現状という表現よりは現在の取組と課題と言っていただければ、そんなに違和感がなかったかなと思います。

◎渡邊会長 現状を現在の取組と変えた方が良いということですね。

◎須藤委員 はい、そのほうが私は個人的には良いと思いました。

◎渡邊会長 前期のものと表現の統一もあると思うので、いろいろ悩ましいと思うのですけれども。ありがとうございます。

井寺委員、何かありますか。

◎井寺委員 2つ思ったことがあったので発表させていただきます。

66ページの平和と男女共同参画の指標についてです。個人的に関心があってほかのいろいろな見ていたのですけれども、平和が尊重されていると感じる市民の割合が2人に1人を目標にしている、もう少し今の時代の状況を見ても、私の主観ではるか50%を超えてほしいと思うのですけど、目標ですからそれぐらいの数値に設定することが難しいのかどうか。世の中全体として、平和と男女平等において2人に1人以ぐらひは5年後には皆さんの意識が上がっ

ているという形にもっていく指標になれば、この全体のイメージとしても良くなるのではないかと感じたので御指摘させていただきたいと思いました。

あと、今日の皆様の御意見を聞いていまして、高齢者の方をめぐる状況がかなり、今までは漠然と高齢者の人をみんなで見守るみたいなイメージだったのですが、本当にみんなで働かなくてはいけなくなってきた時代背景と、あと、認知症とかそういったものを見守っていかなければならないという2つの大きな柱がとてもクリアになってきたことをここで感じました。

私の父が80を超えて、80の壁というのも、本人はあまり思っていないのですが、周りから見るとすごく大きいです。母は80手前なのでLINEなどで連絡取り合っていますが、同窓会の連絡なんかもし合っていますね。そこをうまく社会と世の中の流れに乗せて、うまくLINEでつながることができるようになっていけば、人口もまだたくさんいらっしゃいますので、うんと社会が変わるのではないかと、その方たちとの連携も生まれるのではないかと感じました。高齢者施策に対して、支援することと、一緒に頑張ろうという柱を明確にされると分かりやすいのかなと感じました。

◎渡邊会長 ありがとうございます。佐伯委員。

◎佐伯委員 私は起草委員会の第1グループで揚げ足取るようなこともいろいろ言ったのですが、かなり、本当にすばらしく、いろいろ勉強させていただきながら、施策ができ上がったなと感じておりますので、本当に御苦労が多かったのではないかと思います。私としては第1グループの部分に関して、協議の内容が施策に落とし込まれていてよかったなと思いました。いろいろありがとうございました。

◎渡邊会長 神山委員。

◎神山委員 ありがとうございます。

この短いスペースに文字を入れるのは本当に大変だったろうなと思っています。事務局の皆様、ありがとうございます。

また、この前期と後期で、コロナを経て社会がこんなに変わっていった施策も変わったのだなとこの起草委員会の話でもすごく感じたところです。それと、この5年後がどうなっているのか、本当にどうなるか分からないですけど、しっかり皆さんの議論を形にしていけるというのが大事だろうなと思いました。

ありがとうございます。

◎渡邊会長 ありがとうございます。中村委員。

◎中村委員 先ほど言い漏らしたことをお伝えしたいと思います。

たたき台の83ページ、施策の方向性の一番下、地域活動への参加促進の中で、町会・自治会というのは市全域をカバーする組織でありますけれども、それとリンクして自主防災組織というのがあります。自主防災組織というのは残念ながら小金井市では空白地区がまだあるので、地域活動への参加促進と絡めて、自主防災組織と関連するところ、関連するというのは町会・自治会が母体になって自主防災組織ができるのではないかと。この辺をここに書いていただい

も良いのではないかというのが私の意見です。

それから、くどいですがけれども関係人口ですね。これが交流人口というよりも関係人口について、確かに浅野委員がおっしゃったように92ページには書かれていますけれども、注釈をつけたほうが良いのではないか。関係人口の注釈はなかったですね。交流人口よりもむしろ関係人口が大事だと思います。関係人口を増やすためのいろんな施策というのがなされなければならないということにおいて、関係人口に注釈をつけていただいたほうが良いのではないかと思います。

それ以外は各委員がおっしゃったように、我々のグループで協議したことがこのたたき台に落とし込まれていて大変よかったなと思います。お疲れさまでした。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

渡辺委員、感想でも何でも。

◎渡辺委員 全体を見ていて、自分が知らないことがたくさんあるので、なるほど勉強になりますと思いながら聞いていたのですが、ただの一市民としては、最終的に冊子になって、それを市民の方が共有されると思うのですが、多くの人はホームページから見られると思います。今後、市のホームページが新しくなるということなので、前回もお話ししたのですが、ぜひデジタルブックというような形で見やすくしていただきたいです。分からない単語がたくさんあるだろうし、市のことを全部に詳しい人はあまりいないと思うので、ハイパーリンクなどを付けてもらって、その事業の詳しい説明とかすぐに飛べるようになっていたりとか、そういう、このつながりがしっかりできると、私みたいな何も知らない市民の人達に、皆さんがすごく熱心にやっているのだなというのが伝わるので、ぜひこれが市民の方に伝わると良いなと思って今日は聞いておりました。以上です。

◎渡邊会長 湯元委員、感想でも良いので。

◎湯元委員 最初にいただいたたたき台では、現状と課題で分かれていたのですが、それをひとつにさせていただいてすごく分かりやすくなったと思います。最初にいただいたものは、現状と課題がリストアップしてあって、現状のところに箇条書でたくさんいろいろ書いてあったのですが、それがコンパクトに、半分か3分の1ぐらいでまとめていただいて、1回読めば現状と課題がすんなり入ってくるくらいまとまっていて良いなと思いました。

私も渡辺さんと同じように、読んでいて知らないことが多くて、例えば市民協働支援センターが何をやっているのか正直分かっていませんでした。多分皆さんが思う以上に関係ないというか、実際に自分の生活にあるのは知っているけれども、例えば子育て世代の人は高齢者の仕組みはあまり知らないし、高齢者の方は子育て世代の方を知らないといったように、皆さん思っている以上に知らない人が多いのではないかなと思います。

なので、後ろにあとで用語集をつけるということだと思うのですが、みんな何も分かってないなと思いながら、細かくつけていただけたら良いなと思いました。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

春日委員、お願いします。

◎春日委員　いろいろと高齢者のほうで意見をさせていただいて、要望を聞いていただいてありがとうございます。

非常に良い形でできたと思うのですが、いつも要望ばかりを言っているのですが、この指標の目標値というものが多分、これは市民の方が見たら数字がぼんと入ってくるのが第一印象だと思うのです。この目標値が低いものだともう達成するのかなと思うし、50%というのは本当に微妙な数字だと思うのですが、この目標値というのがどういうふうに出てきているというのがもう少し分かったら良いような気がします。誰に対してアンケートをとって、この目標値になるのか。市民に対しての目標値なのか少し見えなところがある。低いと、ああ、まだまだなのかなと、こちらの数字で印象づいてしまうこともあるので、この目標値というものが何か良い方向の数字に変われるようになれば良いかなというのは、今回やっていて思ったところでございます。

以上です。

◎渡邊会長　ありがとうございます。

石塚委員。

◎石塚委員　今日はたくさんお話しさせていただいたのでそんなにないのですが、ただ1つだけどうしても思うところがあって。今日の87ページ、下から2つ目、新庁舎・（仮称）新福祉社会館の建設、これは春日さんにとっても大きなテーマだと思うのですが、特に新福祉社会館、社会福祉協議会、シルバー人材センターもただいま仮の事務所でありまして、まさにこれが出来上がるのを、首を長くして待っているわけでありまして、5年後には出来ていると良いなと思うわけなのですが、ぜひこれをしっかり、これが削除されないように、どこかで消えているということがないように、ここだけは必ず残っていることを期待しておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

◎渡邊会長　ありがとうございます。

浅野委員。

◎浅野委員　すいません、色々なリクエストをたくさん出させていただきまして、この度は本当にありがとうございました。

具体的な話を1つと全体的な感想を1つ申し上げようと思います。

具体的な話としては、施策28に多分関わるのだと思うのですが、積極的な情報発信ということで、施策28として1つの施策に挙げられていますが、実際にはこれ、ほかの全ての施策に部分的に関わってくるのだらうなと思います。我々のグループの中で議論していて、やっているのに知られていない課題がありました。これもやったらどうかという話が、既にやってますということが意外と多いですね。ただ、それが知られていない。なので、全ての施策に渡って、どうやって市民に情報を伝えていくのかというのを、施策28に限らず全ての施策について共通することなのかなと思いました。

実際のところ、私もいろいろな自治体のデータとかを見て回ることがあるのですが、小金井市のデータの公開度合いは割と良いほうだと思います。例えば、各種の審議会や委員会の議事録を確認したいと思って多摩26市を見てみると、小金井市はかなり詳細な議事録を結構なりアルタイムの速度で公開しているのですね。これは、そういう意味ではオープンデータ公開件数の充実度合いはかなりやっているなと思っています。その一方で、せっかく良いことをしていても市民にそれがあまり知られていないということが多いというのもまた事実で、そのところをどうしていこうかなということを考えていかなければいけない、市民としても考えていきたいと思いました。

全体の感想としては、前期の計画に関わらせていただいたときも同じことを申し上げたのですが、とにかく大変勉強になると思います、自分の関係することしか市政のことをよく分かってないです。ですから、今回全部を読み込んで、評価に関しても後期基本計画に関して全部見て議論して、しかも市長部局のエース級の担当の方々が集まって質問に答えてくれるということは、これはなかなかない機会ですね。そういう機会に恵まれて大変にありがたいことだなと思います。

我々、話し合っかなり煮詰まってきましたけれども、まだもうちょっと先があるわけですよ。この先もいろいろあると思うのですけれども、さらに我々も進めていきたいと思っています。ありがとうございました。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

私も委員の1人として、93ページの総合戦略の構造、縦書きのもので横断的な視点2というのが、前期は非常に抽象的に社会の新しい時間にするという表現だったと思いますけれども、後期ではデジタル田園都市構想ということに沿ってだと思うのですけれども、「デジタルの力を活用し、社会課題を解決する」という大変具体的な表現になった。ここが私にとってはすごくよかったかなと思います。

行政というとやはり縦割り社会と言いますが、縦割り行政に対してやはり横糸を通す、縦糸に対して横糸を通すことによって布ができるわけですね。それで強力な布になるので、ぜひ今後とも生かしていただきたいと思います。

それから、言葉というのは非常に多重的でいろんな解釈ができると思います。今日、皆さんが発言されたことというのは、多分解釈によっては全部これに包含されているかもしれない。でも、違う解釈もできるかもしれないので、ぜひ今日出た御意見がここで書かれている言葉のこういう意味なのだなという風に行政として捉えていただいて、今後の具体的な方策にそれを展開していただきたいなと思っています。私の個人としての意見です。

全般として、この施策の部分について御意見いただきましたので、この議題はここで終わりにしたいと思います。

次に、次第2の重点テーマについて事務局からお願いします。

◎廣田企画政策課長 では、重点テーマの記載方法について検討していることを御説明したい

と思います。重点テーマにつきましては、たたき台で御覧いただいておりますとおり、施策ごとに該当する視点がある場合に丸やアイコンを表示するような形を想定していたのですが、このたび該当する視点に対する具体的な取組を記載してほしいというような御意見もいただきましたので、お配りの参考資料のとおり、別案という形で作成いたしました。

参考資料としてお配りしています「重点テーマの記載変更案」を御覧いただければと思います。こちらは、案として幾つかの施策のみを作成しておりますけれども、このように重点テーマの取組内容の幾つかを簡略的に記載することも検討しております。こちらにつきましても併せて御意見を頂戴できればと思います。よろしくお願いいたします。

説明は以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

事務局の案について説明がありましたけれども、何か御質問等があれば。

◎**神山委員** 今の重点テーマのところですけども、ここに記載されているのは、今やっていることがここに載ってきているというようなイメージですか。

◎**前坂企画政策係長** そうですね、そこも実は整理し切れていなくて、これからやることも含めて書きたいなと思うのですが、なかなかレベル感をそろえるのは難しいというのが正直なところあるので、分かりやすさで言えば、多分言葉にしたほうが分かりやすいと思うのですけれども、そうすると書けること、書けないことみたいなことも出てしまうかなと思っていて、今みたいな形のほうがふわっとした形になるのですけども、ぱっと見たときに分かりやすさもあると思っています。具体性で言えばこういう表記をしたほうが良いという御意見もいただいて、事務局としても今悩んでいるところです。おっしゃっていただいたようにやっていることを書くとか、何かルールを設けて書いていかないといけないかなと考えているところです。

◎**神山委員** 例えばこの施策2でいくと、このたたき台の中では、サステナブルのところで人材育成に丸がついていて、今後、この施策をやる中では人材育成とか確保していくのが大事だという視点が多分あった中で、この参考資料の中では、今後この人材確保・人材育成をどうしていこうかというのをどう表現するのかはなかなか難しいかなと思っていて。でも、ほかのところでもみんなそうですよね。地域経済に丸がついていたとしても、ではこの地域経済をどう言葉として表現していくというのは何か難しいかなと思ったので、その辺り、またうまい表現をお願いします。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

ほかにこの重点テーマに関してご意見はありますか。

なければ、次の議題3 市民フォーラム等についてという議題に入りたいと思います。それでは事務局より説明をお願いします。

◎**アビームコンサルティング株式会社** では、後期基本計画に対する市民等からの意見聴取について説明をさせていただければと思います。

まず、これまで委員の皆様で御議論いただいた後期基本計画のたたき台、こちらを今後、よ

り幅広い市民の皆様にご覧をいただき、御意見を賜うような場を今後設定してまいればと考えております。その取組の全体像をこちらでお示しをさせていただいております、こちら、おおきく3つ、今後、予定させていただいているものがございます。1つ目が市民フォーラム、2つ目がD e c i d i m、3つ目がパブリックコメントです。

1つ目の市民フォーラムにつきましては、市の取組の状況ですとか計画の概観のようなパネルを御用意させていただいて、そちらを基に来訪された方に関心をもつていただき市の取組に関して御意見を聴取できればと考えております。実施時期については、9月20日の土曜日、9時30分から17時までを予定しております。備考のところに青字で書かせていただいておりますが、こちらの市民フォーラムは長期計画審議会の一部として実施させていただければと考えておりまして、委員の皆様のご協力を賜うればと考えております。詳細はこの後、御説明させていただきますが、まず概要として説明させていただきます。

2点目がD e c i d i mでございます。こちらでも後ほど御説明させていただきますが、今回はD e c i d i mというオンラインツールを活用しまして、これまで御議論いただいた後期計画の内容について幅広い市民の皆様から御意見を賜うればと考えております。こちらはまだ詳細の期間などは決まっていないのですけれども、令和7年9月から10月頃の約1か月間で実施をさせていただく予定でございます。

3番目がパブリックコメントでございます。こちらについても同様の形で、後期計画の内容について市民の皆様からの御意見を賜うればと考えてございます。こちらの実施時期については9月19日の金曜日から10月31日の金曜日までというところで予定させていただいております。

資料の一番右下のところでございます。今回のこの3つの取組につきましては、それぞれ市民の皆様からより幅広い御意見を賜うというような形でございまして、また今回、①の市民フォーラムはイベント形式のものでございますので、そういったところで②、③のD e c i d i mとパブリックコメントについても周知等をさせていただきながら実施をしまして、意見の聴取の最大化を図ればと考えてございます。

全体像は以上でございまして、以降は小金井市民フォーラム、②のD e c i d i mについて、もう少し詳細な説明をさせていただければと思います。

市民フォーラムについての説明になります。これまでの審議会でご説明させていただいたものと一部重複しますが、こちらに市民フォーラムの細かな内容について書かせていただいております。目的については、市民の皆さんに小金井市の取組であったり計画の状況等々を御覧いただき御意見賜うまして、必要に応じてその計画の内容へも反映させるというところを目的としたいと考えております。開催日時は先ほど述べました9月20日で、開催場所については小金井 宮地楽器ホールのマルチパーパススペースを予定させていただいております。実施形式につきましては、右側の参考イメージにもありますとおり、このような形でパネルを当日置かせていただきまして、それを御来訪いただいた方に見ていただき御意見を賜うような場

を想定してございます。

一番下のところでございます。委員の皆様への御依頼の事項として記載をさせていただいてございます。先ほどのスライドでも御説明させていただきましたが、こちらの市民フォーラムは長期計画審議会の一部として実施をさせていただきたいと考えてございます。委員の皆様にも御出席いただければと考えてございます。出欠の御確認につきましては、後日、事務局のほうからメールで御連絡をさせていただきますので、その際には調整をお願いできればと思っております。

青枠で書かせていただいているところでございます。当日の役割と対応時間について記載をさせていただいてございます。役割のところでございますけれども、委員の皆様におかれましては、会場スタッフの一員というような形で、御来訪いただいた方に、ここにあるような市政に対して日頃感じておられるような御意見といったものをフランクにお聞きいただくというような役割を想定して記載させていただいてございます。

対応時間でございます。開催日時は9月20日の終日やっておりますけれども、シフトを交代するような形で、そのうちおおむね2時間程度、数名の方に御対応いただいて、それを交代で回させていただくような形で考えてございます。下にシフト例を書かせていただいておりますが、こちらのように2時間枠のような形で設けさせていただいて、皆様にも御対応と御協力をいただければと考えてございます。

今、この市民フォーラムの説明の中で、パネルを展示するという話をさせていただいておりますけれども、今、パネルの作成を進めてございます。もう少しこちらの市民フォーラムについてのイメージ感を見ていただくために、現状作成中のもので恐縮ですけれども、パネルについても一部共有させていただければと考えてございます。本日御覧いただくパネルは3パネルを想定してございます。本番は10から12枚のパネルを御用意して、来訪者の皆様に見ていただくことを想定しておりますが、現状は作成中ということもありまして、その中の3つほどを御紹介させていただければと思っております。

まずこちらは、市民フォーラムが何なのかという説明のパネルですね。当日もそういった形のものを御用意をして、まず見ていただくということを想定しております。当日はB1ぐらいの大きさの紙に印刷をして、御来訪いただいた方に見やすいような形で、紙で見ていただけるように御準備したいと思っております。

市民フォーラムの説明については、先ほど申したような後期計画の策定を進めていて、市民の皆様から御意見を賜るために市民フォーラムを開催していますというところを上段のところで書かせていただいております。中段のところには、パネルに皆さんの意見を貼ってくださいというところがありますように、こちら、この後もパネルの例を御紹介させていただきますけれども、6つの政策ごとにパネルをお作りして、それごとに、付箋に書いて御意見をいただくとか、重要な政策と思われるものにシールを貼っていただくとか、そういったような形で市民の皆様から御意見をいただきたいと思っております。なので、最初の市民フォーラムの説明の

中に、その説明も加えさせていただいてございます。

一番下のところでございます。クイズの開催という形で記載させていただいておりますけれども、市民の皆様により御意見をしたいと思っていただくために、クイズのようなものもパネルの中に仕込ませていただいて、当日実施できるか検討してございます。想定しておりますのは書いておりますとおり、こきんちゃんをパネルのいろんなところにちりばめさせていただいて、そのこきんちゃんの数をお数えていただいて、その数をスタッフにお伝えいただくと記念のシール、ステッカーのようなものを御用意させていただいているので、そういったものをプレゼントするような、興味関心を引いていただくような取組も加えながら、当日、市民の皆様からより多くの御意見を賜われればと考えてございます。

こちらが本日御紹介する3つのスライドのうちの1つでございます。あとはパネルの中身の部分を2つ御紹介させていただければと思ってございます。1つは、小金井市の現状、今どういったことをやっているのかということの説明のパネルをおおむね4つか5つほど御用意をさせていただこうと思っております。そのうちの1つをこのような形でというイメージとして共有させていただきます。こちらの内容のほうは詳細化ですとか、磨き上げる予定なのですが、イメージ感として捉えていただければなと思ってございます。

現状のスライドとして、分かりやすいところでいうと例えば小金井市の人口はどれぐらいいるのかですとか、近年どういった人口の推移をとっているのかといったところを、ビジュアライズしてお見せできればと思っております。あとは、率直に小金井市民が市のことについてどう思っているのかということです。小金井市で暮らしている場合でも、あまり通常はお考えにならないような、どれぐらいの定住意向が小金井市民は持っているのかですとか、住みやすさがどれぐらいのパーセントで市民の方が思われているのかといったような現状について御紹介するパネルを御用意させていただきたいと思ってございます。現状の取組の状況を4つ、5つのパネルで御用意をさせていただき想定でございまして、一応、1枚のサンプルとして御覧いただいた形になります。

3つ御紹介するといったパネルの最後でございます。これも内容は今後ブラッシュアップする予定ですが、先ほど市民の皆様から御意見を賜るという形で御説明させていただいた政策ごとのパネルですね。こういう形で、パネルの上部で政策についての御説明をもう少し記載をする予定ですが、細かく説明させていただくような形で考えております。下部のほうでは、先ほど申したような市民の方から御意見を賜れるような形で枠を設けられればと考えてございまして、通常の丸いシールを貼っていただくとか、意見がある場合は付箋にその意見を書いていただいてそこに貼っていただくとか、そのようなパネルを御用意して御来訪いただいた市民の方々から御意見をいただくようなものを想定してございます。

以上が市民フォーラムについての概要のところとパネルの御説明でございます。

もう一つ、Decidimについての御説明でございます。後ほど御参考までにサイト画面のイメージを共有させていただくのですが、まずはそのDecidimというものの概

念の説明をさせていただければと考えてございます。左側の部分、「Decidim」とは？というところで、こちらは記載がありますとおり、海外で誕生したオープンソースの参加型合意形成プラットフォームで、オンラインで市民の皆様から御意見を収集できるようなツールになっております。

こうしたDecidimを活用させていただいて、左下のところ、今回「小金井市版Decidim」という形で後期計画の内容について市民の皆様から御意見をいただくことができ、アイデアも含めて聴取できればという形で考えてございます。パブリックコメントと類似する点もありますけれども、異なる点としましては、こちらのDecidimについてはオンラインツール、プラットフォーム上のコメントのやり取りが可能ですので、ほかの方が意見したのに対して自分はどう思うのですとか、こういったところもあるのではないですかといった意見のかけ合いが可能となりますので、そういった意味合いで意見も活性化できる部分があるという形になってございます。

右側の部分、今申し上げたところではありますけれども、今回の小金井市版Decidimにおいては、これまで皆様に御議論いただいた後期計画の内容についてアップをさせていただいて、その内容について御意見を賜わせていただければと考えてございます。こちらはオンライン上のプラットフォームになりますので、PCはもちろんですがスマホ等々でも投稿、意見交換ができるようなものになっておりますので、そういった形で投稿のハードルも下げて、より多くの皆様からの御意見を賜れればと考えてございます。

以上がDecidimの概念の説明でございまして、今Decidimについてはページを絶賛構築中でして、まだ全然中身がないような状況になっております。こちらがDecidimの画面で、まだ何もできてないのですが、ここに小金井市の象徴となるような写真などもおつけして、まずトップページを掲載して、その下にDecidimの説明みたいなものを記載させていただく想定でおります。また、今の基本構想ですとか前期基本計画ですとか後期基本計画がどういった内容なのかといったような説明も加えさせていただいて、Decidimのみならず、このDecidimのページが何なのかといったところの説明も加えさせていただく想定でおります。通常はこの参加というところを押していただいて、こちらはちょっと今試験的に掲載をしているものになりますけれども、ここで投稿ができるようなものを幾つか掲載をして、それを進んでいくと意見を投稿できるというようなページの構成で進められればと考えてございます。

あまりページもできていないので、他市さんの事例について御紹介させていただくと、日本国内のDecidimでいうと、兵庫県加古川市さんが比較的熱心にDecidimに取り組まれておりまして、加古川市さんも直近で総合計画の内容についてDecidimで取り上げられておりましたので、そちらについて説明させていただければと思っております。

ページ構成は同じDecidimですので、先ほどの小金井市のものとおおむね類似するものになっていまして、トップページがあって、その中にこのDecidimのページが何なの

かという説明があります。そこから進んでいただくと、直近、加古川市さんでは総合計画を策定するためにワークショップを開かれていて、そのワークショップで出た意見についていろいろと御意見交換ができるようなページを作られております。こちらがワークショップの中で出たグループの意見で、こういったような意見が出ましたというのがあって、一般の市民の方々はこういうような形で意見投稿ができて、小金井市の場合では、掲載された後期計画の内容について意見をこういうような形で述べるができるようになっております。こちらのコメントはまだ1件しかないのですけれども、これに意見交換、相互でやり取りできるような形でコメントを追加することもできますので、そういったような形で小金井市との意見交換も図れるのかなと考えてございます。

駆け足になりましたが、今後の市民参加で、市民の皆さんから御意見を聴取することについての説明は以上となります。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

この市民フォーラムの計画について、何か御意見、御質問はございますか。

これは9月20日の午前9時半から午後5時で、我々委員が9時半から午後5時までずっといなければいけないのですか。

◎前坂企画政策係長 資料の2ページの下のほうにシフトの例で、確定はしていないのですが大体お一人2時間ぐらいを予定しております。御予定のある方もいると思いますので、後ほど日程調整をさせていただいて、御参加いただける方に御参加いただきたいと思います。

◎渡邊会長 その場でいろいろ聞いたりするわけですね。

◎前坂企画政策係長 そうですね、どんな雰囲気になるかわかりませんが、たくさん説明するというよりは意見交換のような形で、来場者に声をかけていただいて、後でこんなことを言っている方がいたというのを教えていただくような形になるかなと思っています。

◎渡邊会長 いろんな方がいらっしゃるでしょうね。

ほかに何かございますか。

◎石塚委員 D e c i d i m のことで、参加者同士の意見交換ができるというのは、参加者同士でかなりの激論になった場合の抑え方はどのような対応を考えていますか。

◎アビームコンサルティング株式会社 可能性としてはあまり多くはないと思いますが、そういった場合は事務局のほうで介入して沈静化するなども考えられます。あとは、強制的にコメントを削除するような管理機能もありますので、そういった形で対応することも可能です。

◎石塚委員 ありがとうございます。

◎渡邊会長 市民フォーラムの当日は事務局の人も出てくれますか。

◎前坂企画政策係長 我々も全員出席の予定です。

◎渡邊会長 トラブルとか何かあればご対応をお願いします。

◎前坂企画政策係長 対応したいと思います。

◎渡邊会長 ほかにございますか。

◎浅野委員 Decidimとパブリックコメントは別建てで行うという立てつけですか。

◎前坂企画政策係長 Decidimとパブリックコメントは別で実施します。パブリックコメントはパブリックコメントでまた別のフォームから御意見をいただきます。

◎渡邊会長 別なのですね。

◎前坂企画政策係長 従来からあるパブリックコメントは長計審からの回答をする形でやりたいと思います。Decidimのほうは試験的な導入のため、おっしゃっていただいたような懸念もあったりするので、まずやってみてというところがあります。

◎浅野委員 Decidimのほうは、どういう形でアウトプットされるのですか。パブリックコメントは一覧表になって後で見られるようになると思うのですけれども、Decidimの場合は、どういうふうにアウトプットができるのですか。

◎アビームコンサルティング株式会社 そこはパブリックコメントと同様に意見を一覧化させていただきます。意見がすごく長い場合の扱いなどは、その見せ方について検討します。基本、一覧化してお示ししたいと考えております。

◎中村委員 市民フォーラムについて広報として、市報とかホームページとかに載せられる予定はあるという理解で良いですか。

◎前坂企画政策係長 市報やホームページにつきましては準備しておりますので、広報をさせていただきます。

◎渡邊会長 ほかにありますか。

◎石塚委員 ちょっとさっきのDecidimのところ、パブコメとの扱いの違いなのですが、パブリックコメントは正式な回答をホームページに載せる形にするとすると、Decidimはインプットにするけど、例えばこういうふうに取り扱いますという回答を載せる認識はなかったのですけれども、その違いは、感想に近いようなものも入るということなのでしょうか。

◎前坂企画政策係長 あらかじめその辺のルールを決めておかななくてはならないと思うのですけれども、特にそこまでは想定していなかったのも、何か必要であれば対応はしなければいけないかなと思うのですけれども、もし御意見で答えが欲しいような場合は、その中でパブリックコメントに誘導するとか、市として預かりますといった対応で調整できるかなと思います。

◎石塚委員 我々としてはDecidimの意見もちちゃんと全部受け止めるのですけれども、市民の方からの御意見に対して正式に回答するのはパブリックコメントがベースという形ですね。

◎浅野委員 それを見て、意見を集めるわけだから、その中で市民同士が行っている議論も含めて何らかの形で施策に反映する必要はあるわけですね。そこは実験的なものだから、そこまでは考えないというスタンスですか。

◎前坂企画政策係長 Decidimは試験的な扱いで、基本はパブリックコメントでご意見をいただきつつ、その中でDecidimのほうもこういう声があったということ参考にし

て、何か反映できるものがあれば検討したいと思います。どのように計画に落とし込むかというところまではまだイメージができていないところが正直あります。

◎浅野委員　じゃあそういう意味では、我々もログインできるような状態にして、都度アウトプットを配るというよりは、各自がログインして見てくださいという、結果としてはそういうシェアの仕方になるのでしょうか。

◎アビームコンサルティング株式会社　決めていないですが、そういった形でもよいと思います。何らかの形で取りまとめさせていただいて審議会の中でフィードバックすることを考えています。

◎浅野委員　分かりました。コメントが少なければ良いですけれども、多くなるとちょっと收拾がつかなくなりますね。ありがとうございます。

◎渡邊会長　よろしいですか。

市の職員の方がいらっしゃるからうまくやられるだろうと思います。

それでは、その他の議題に入ります。

◎廣田企画政策課長　その他の事務連絡の前に、1件確認をさせていただきます。戻ってしまうのですが、先ほどの重点テーマの記載方法について、該当する項目に丸をつける形が良いか、それとも文字にしたほうが良いか、どちらのほうが皆さんの感覚としてはしっくりくるのか、もし何か御意見があればお願いします。どちらのほうがよろしいでしょうか。

◎渡辺委員　両方は難しいのでしょうか。丸をつけて、書きたい項目があるときは※1とか※2を足して、下にそれがどういう具体的なものか書くのはいかがでしょうか。

◎前坂企画政策係長　そうですね、それも内部では考えていて、それもあるかなと思っています。その場合、全て書かないで主なものを書くという方法も、見やすいかなと思います。御意見ありがとうございます。そういう方法もあるかなと思います。ぱっと見た印象でどちらのほうが分かりやすいとか、感想レベルでも良いので、もしあれば教えていただければ参考にしたいと思います。

◎渡辺委員　広く分かりやすいのは丸ですけど、具体的に分かりやすいのは言葉にする方ですね。

◎前坂企画政策係長　そうですね、おっしゃるとおりだと思います。

◎渡邊会長　そこを検討するということですね。

◎廣田企画政策課長　分かりました。また会長とも調整させていただきたいと思います。

それでは、事務連絡に移りたいと思います。

◎事務局　では、事務局より事務連絡をいたします。

次回の審議会の日程につきましては、9月16日の火曜日午後6時からになっております。場所は、市民会館萌え木ホールA会議室となります。なお、詳細につきましては改めて開催通知を送付させていただきます。

また、市民フォーラムの出欠につきましても後日メールにて御連絡をさせていただきますの

で、よろしくお願いします。

最後に配付資料についてでございます。前回同様にはなるのですが、資料については事務局へ預けてお帰りいただくことも可能です。預かり希望の資料を袋に入れて机の上に置いたままにしてお帰りください。次回、机の上に御用意させていただきます。

事務局からは以上です。

◎**渡邊会長** 日程について事務局から連絡がありましたけれども、よろしいですね。

では次回は9月16日火曜日の午後6時になります。この場所ですね。夜ですけどよろしくをお願いします。

本日、用意していただいた議題は以上です。良い議論ができたと思います。

令和7年度の第3回長期計画審議会はこれをもって終了いたします。ありがとうございました。

(午後7時15分閉会)